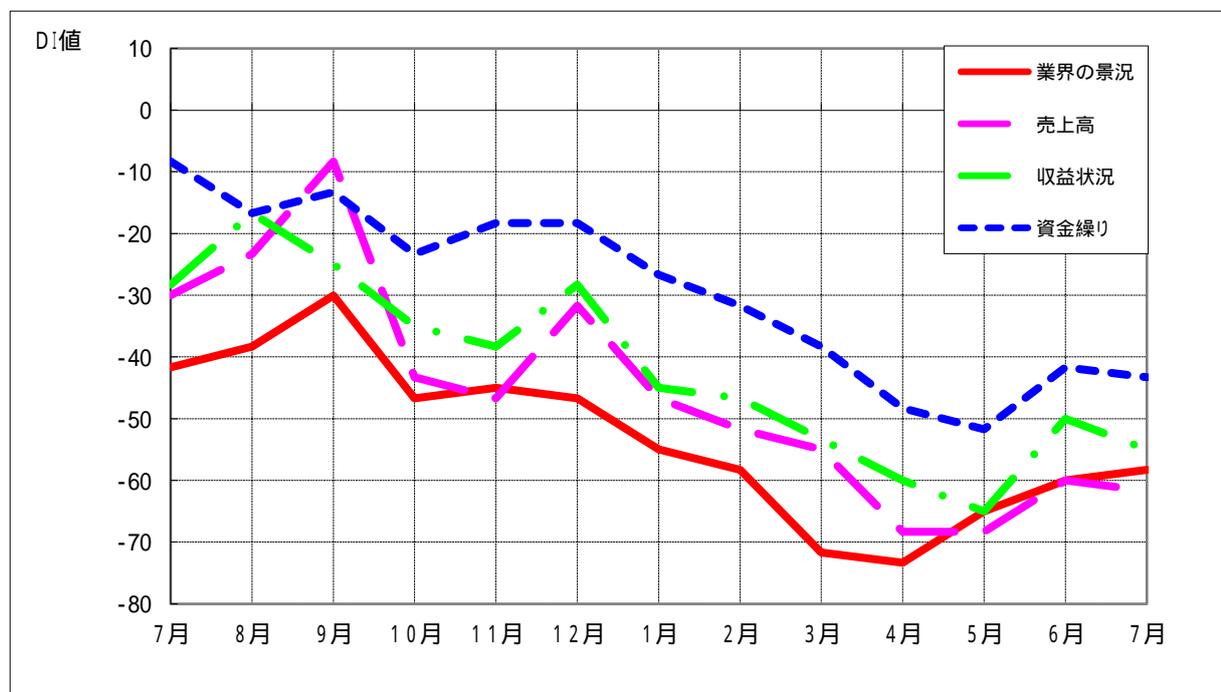


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和元年7月～令和2年7月

単位:ポイント



	R1						R2						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-41.7	-38.3	-30.0	-46.7	-45.0	-46.7	-55.0	-58.3	-71.7	-73.3	-65.0	-60.0	-58.3
売上高	-30.0	-23.3	-8.3	-43.3	-46.7	-31.7	-46.7	-51.7	-55.0	-68.3	-68.3	-60.0	-61.7
収益状況	-28.3	-16.7	-25.0	-35.0	-38.3	-28.3	-45.0	-46.7	-53.3	-60.0	-65.0	-50.0	-55.0
資金繰り	-8.3	-16.7	-13.3	-23.3	-18.3	-18.3	-26.7	-31.7	-38.3	-48.3	-51.7	-41.7	-43.3

7月のDI値は前月と比べ、1項目改善、3項目悪化となった。「業界の景況」DI値は1.7ポイント改善し、「収益状況」DI値は5.0ポイント、「売上高」DI値は1.7ポイント、「資金繰り」DI値は1.6ポイントそれぞれ悪化した。前年同月比では、9ヶ月連続で全項目悪化しており、「資金繰り」DI値は35.0ポイント、「売上高」DI値は31.7ポイント、「収益状況」DI値は26.7ポイント、「業界の景況」DI値は16.6ポイント、それぞれ悪化した。

連絡員からは引き続き、業種を問わず新型コロナウイルスの影響が報告されている。製造業では、業務用の出荷は依然として低調であり、工場の稼働率も低下しているとの声が多い。同業種間において取引先の地域・消費先等の違いにより明暗が分かれているものもあるようだ。非製造業においては、7月上旬に回復の兆しが見られたが、中旬以降に新型コロナウイルスの感染拡大を受け、前年同月と比較して7割程度の回復に留まっているとの報告が目立った。

組合からの特記事項としては、消費喚起の施策による効果があったと一部の業種より報告があるが、感染予防のための制限や今後の動向を注視する状況となっている。また、国や自治体の給付金や制度を利用し、持ちこたえてはいるが、依然として消費は低調であり、新型コロナウイルスによる影響の終息が見込めず、先行きの不透明感を不安視する声が多い。制度を利用する上で、迅速な自治体の対応やわかりやすい案内などが望まれている。